

# 卒業時アンケート結果 2023年度全4年生対象

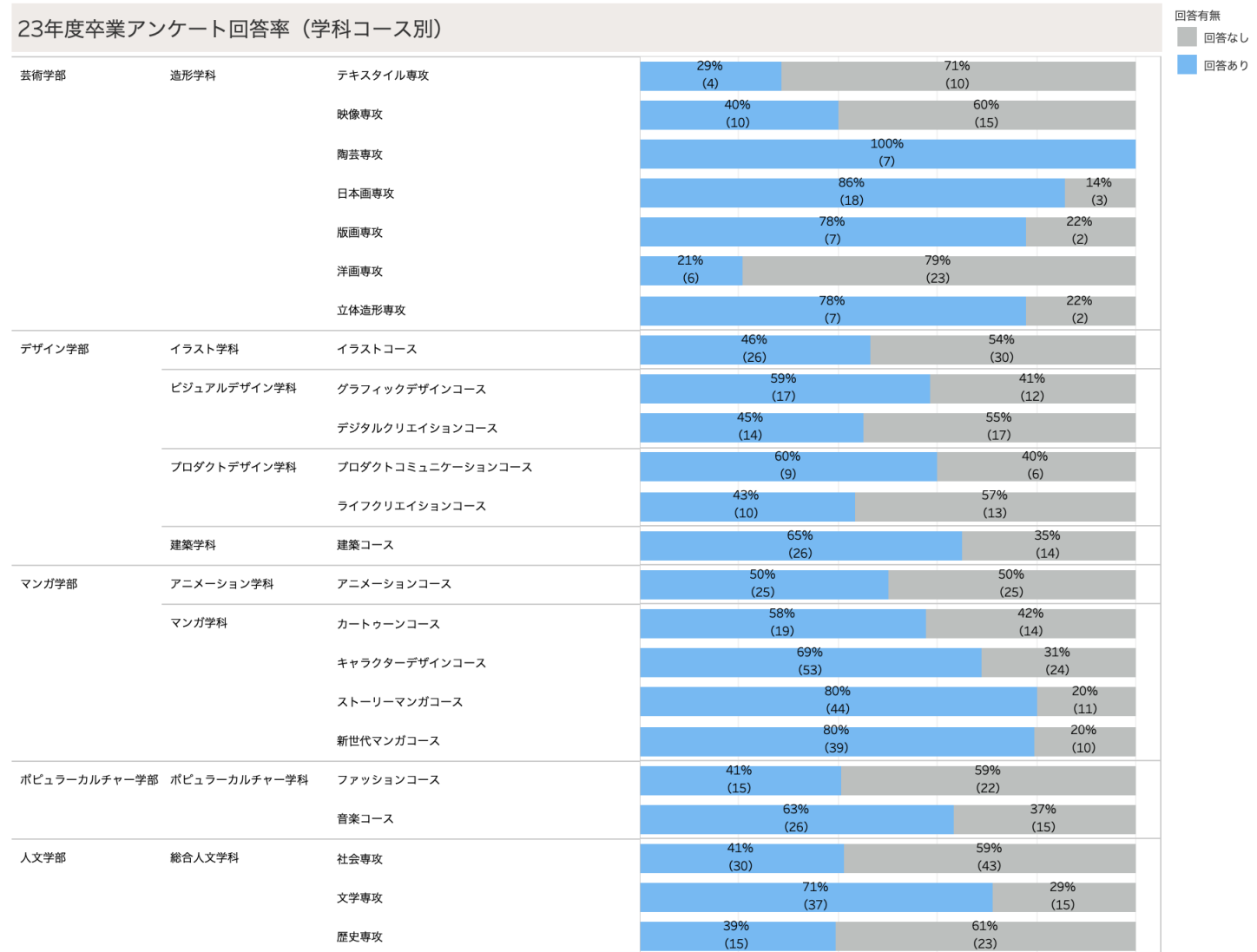
ファイル作成日：2024/06/04 学長室グループIR

## 2023年度 卒業時アンケート回収率

全学の回収率は57.1%（学部卒業生数813名中回答者464名）となった。直近3年間の平均回収率は60.9%であるが、今年度から算出方法を卒業生実数を分母としたため（昨年までは卒業予定者が分母や回答者数に含まれていた）、同じ算出根拠ではない。

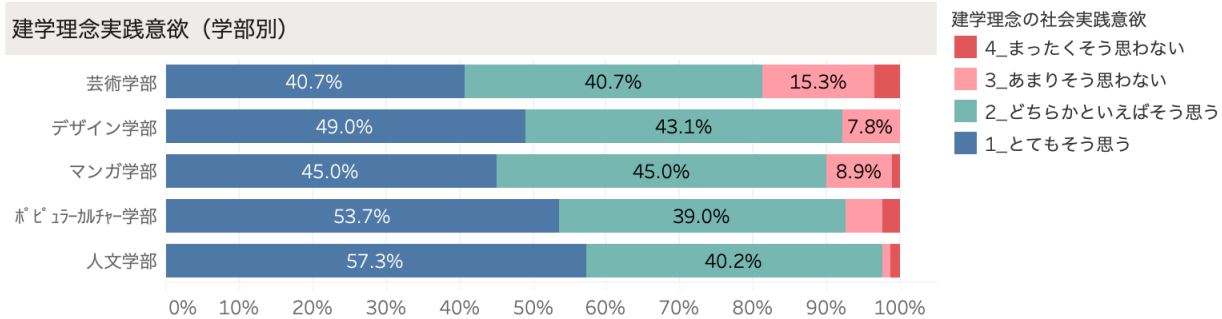
23年度卒業アンケート回答率 (学部別・高回答率順)	
マンガ学部	68.2%
デザイン学部	52.6%
ポピュラーカルチャー学部	52.6%
芸術学部	51.8%
人文学部	50.3%

(回収数/最終卒業生数：  
 マンガ学部 180/264、  
 デザイン学部 102/194、  
 ポピュラーカルチャー学部 41/78、  
 芸術学部 59/114、  
 人文学部 82/163)



## 建学理念の社会実践意欲

設問：「「人間尊重」「自由自治」という建学の理念を社会生活で実践しようと思いませんか」に対し、全学で91%の学生がとてもそう思う、どちらかといえばそう思うと回答。

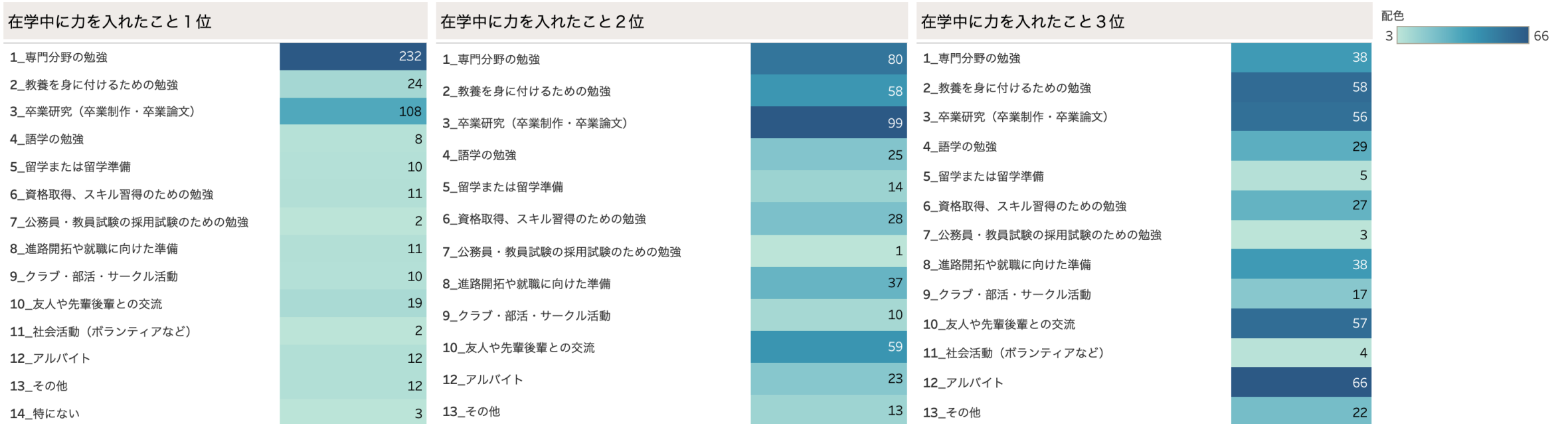


## 在学中に力を入れたことトップ3

選択した学生の実数を表記、選択者が多いものほど濃い色となる。

1位2位を見ると、全学的に専門分野の勉強、卒業研究、教養の勉強に力を入れている。2位3位を見ると、次いで友人や先輩後輩との交流、アルバイト、進路準備、スキル習得や語学の勉強が続く。

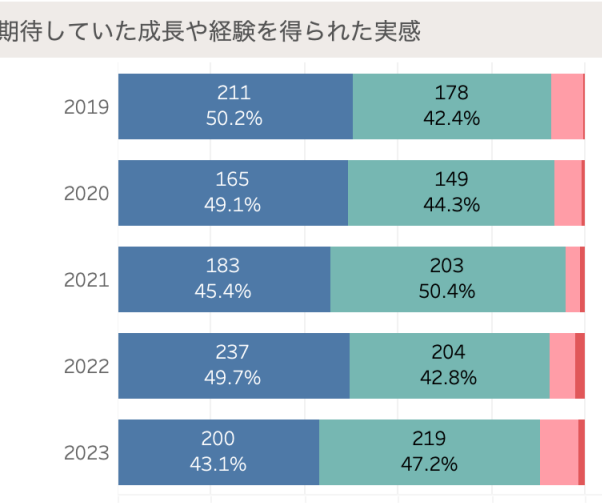
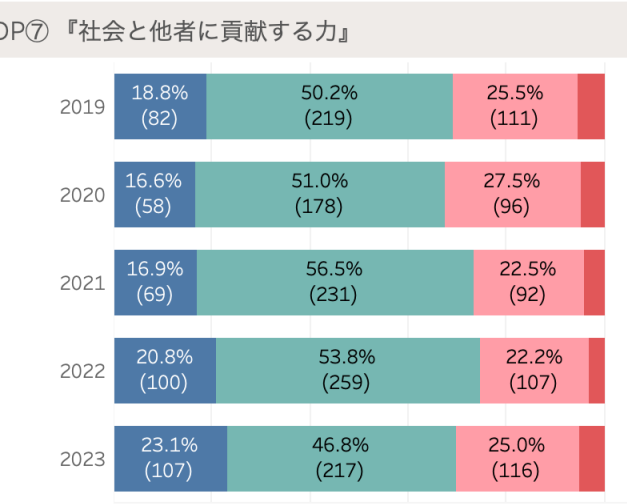
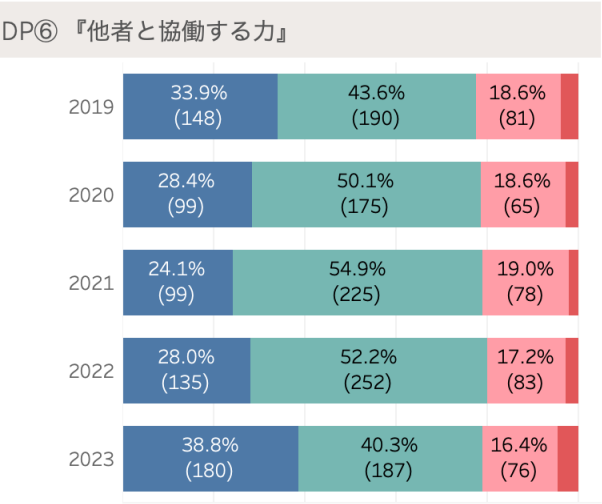
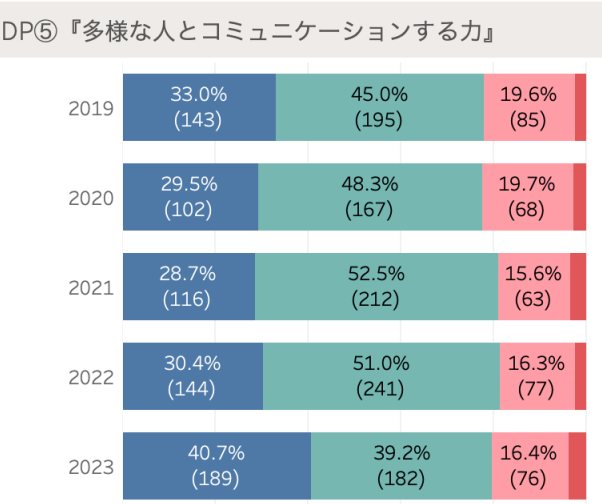
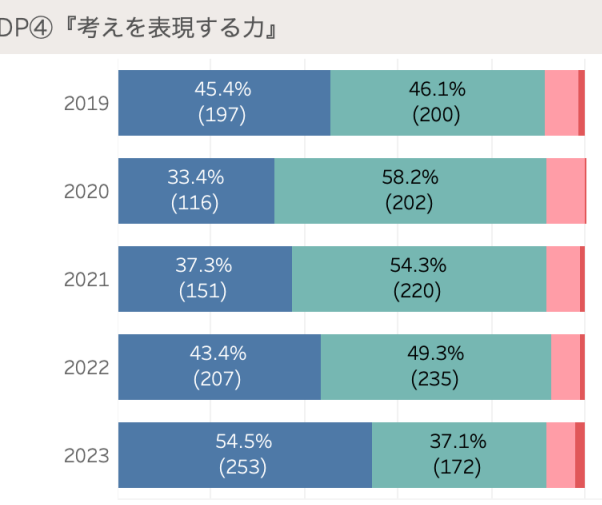
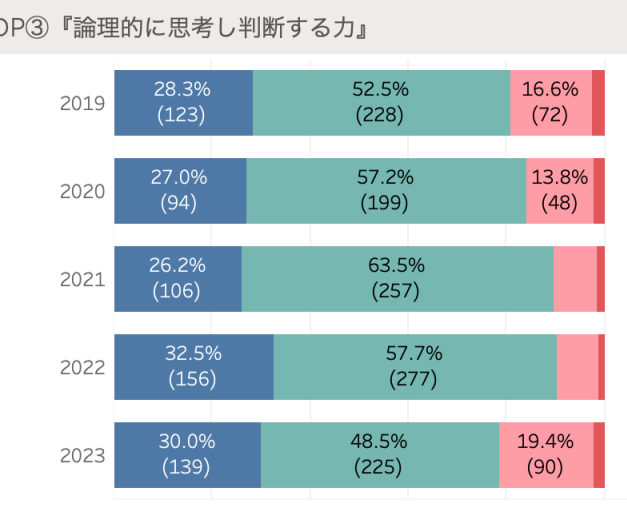
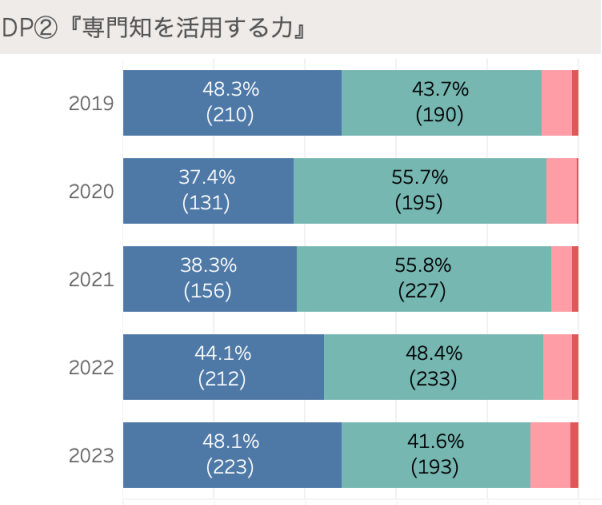
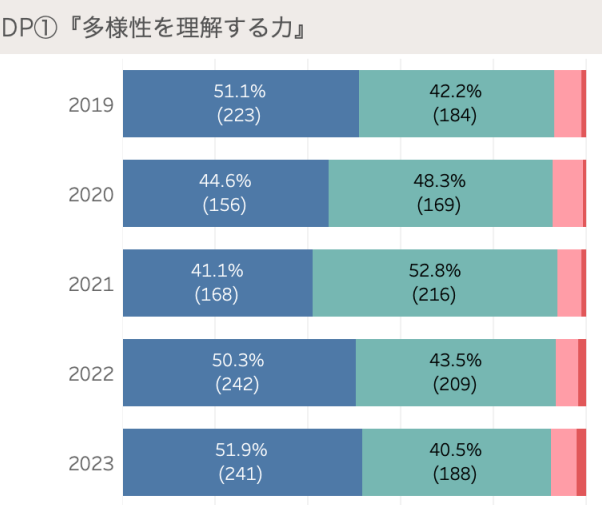
(1位から3位までそれぞれ一択式、1位のみ回答、1位2位のみ回答、3位まで全て回答の3パターンあり。1人も回答がなかった項目は項目ごと表示されない。)



# 2023年度 卒業時DP成長実感 経年推移（全学）

「大学での授業や活動を通して、次の力について、入学当時と比べ成長した実感がありますか」に対する全回答数分の各選択肢割合を色別に%で示した。（）内は実数。  
 「多様性を理解する力」「専門知を活用する力」「考えを表現する力」の成長実感割合（強く実感する、またはやや実感すると答えた割合）は、9割を超えており全体的に高い。  
 一方、「多様な人とコミュニケーションする力」「他者と協働する力」「社会と他者に貢献する力」は全体的に成長実感が低めの傾向。  
 「論理的に思考し判断する力」の成長実感は4年連続伸びていたが、今回前年度から11.7ポイント大きく減少したほか、「専門知を活用する力」が3年連続で減少傾向。  
 総合的な成長実感を測る「期待していた成長や経験を得られた」実感についても、3年連続で減少となっている。

成長実感レベル  
 4\_まったく実感しない  
 3\_あまり実感しない  
 2\_やや実感する  
 1\_強く実感する



# 2023年度卒業時満足度・学部学科お薦め度ほか（全学観点・学部別）

回答者中の選択肢の選択割合を色分けで示し、数値は選択者実数。3-5のみ「わからない、該当しない」の割合が高いため入れているが、他の項目では除外。

満足度においては、入学満足度は総じて高いが、教学と直結するところでは語学教育、進路就職支援の満足度が他項目より低い。キャンパス環境・窓口対応に満足していない層も2-3割おり、自己点検時に主に事務局側で自由記述を参照する必要あり。

カリキュラムへの不満、所属学部学科を「薦めない」と回答した割合が高い学部においては、自己点検時に学科コース分析や自由記述を参照する必要あり。

